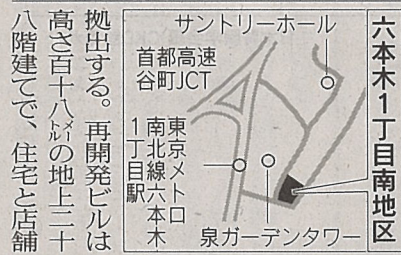


再開発、1年遅れで着工

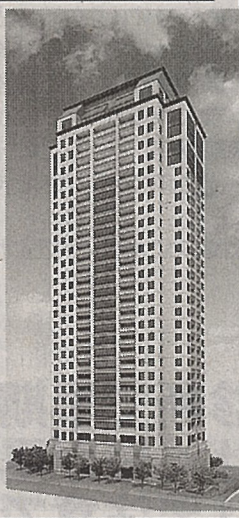
六本木1丁目 熊谷組、今秋メド

東京の六本木一丁目地（長）は九日、同地区第一種域の住民や不動産業の日市街地再開発事業の施工総ビルディング（東京・業者を熊谷組に内定し、港）などで組織する六本木一丁目南地区市街地再開発組合（静永純一理事）とを決定した。昨年は建築費の急騰を背景に着工の見通しが立たなかった。鋼材高騰に一服感が広がり再開発が動き出す。総事業費は約百七十三億円。国、東京都、港区は約十五億円の補助金を



などで構成する写真完成予想図。日総ビルディングは飲食店の誘致を検討している。再開発地区は住友不動産の「泉ガーデンタワー」の東側にあり、東京メトロの六本木一丁目駅から近い一等地。

都が組合設立を認可した二〇〇七年時点では〇八年秋の着工を予定していたが、昨年の鋼材高騰で着工が大幅に遅れていた。再開発地区では高層ビル建築のほか、緑地の整備や道路の拡幅、歩道の新設も予定している。



六本木1丁目再開発



今秋、1年遅れで着工

東京の六本木一丁目地域の住民や不動産業の日総ビルディング（東京・港）などで組織する六本木一丁目南地区市街地再開発組合（静永純一理事長）は、同地区第一種市街地再開発事業の施工業者を熊谷組に内定し、今秋をメドに着工することを決めた。昨年は建費の急騰を背景に着工の見通しが立たなかったが、鋼材高騰に一服感が広がって再開発が動き出す。

総事業費は約百七十三億円。国、東京都、港区は約十五億円の補助金を拠出する。再開発ビルⅡ写真は完成予想図Ⅱは高さ百十八階の地上二十八階建てで、住

施工業者に熊谷組内定

宅と店舗などで構成する。日総ビルディングは飲食店の誘致を検討している。再開発地区は住友不動産の「泉ガーデンタワー」の東側にあり、東京メトロの六本木一丁目駅からも近い一等地。

都が組合設立を認可した二〇〇七年時点では〇八年秋の着工を予定していたが、昨年の鋼材高騰で着工が大幅に遅れていた。再開発地区ではほかに、緑地の整備や道路の拡幅、歩道の新設も予定している。